平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場会社名　日水製薬株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4550　URL　http://www.nissui-pharm.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長執行役員　(氏名) 佐々　義廣
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員　(氏名) 後藤　守男　TEL 03-5846-5611

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	3,143	△0.9	591	1.9	903	43.6	566	103.1
25年3月期第1四半期	3,172	△1.7	580	11.0	629	0.2	278	46.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	25.30	―
25年3月期第1四半期	12.46	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	30,364	27,803	91.6	1,241.41
25年3月期	30,646	27,653	90.2	1,234.68

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　27,803百万円　25年3月期　27,653百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	15.00	―	17.00	32.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		17.00	―	17.00	34.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,050	4.5	1,550	7.9	1,650	4.7	1,150	75.6	51.35
通期	14,100	6.9	3,100	13.7	3,300	4.0	2,300	3.0	102.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	22,547,140 株	25年3月期	22,547,140 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	150,115 株	25年3月期	150,115 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	22,397,025 株	25年3月期1Q	22,397,345 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・２
（１）経営成績に関する説明・・２
（２）財政状態に関する説明・・２
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・３
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．四半期財務諸表・・・４
（１）四半期貸借対照表・・・４
（２）四半期損益計算書・・・６
（３）四半期財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（継続企業の前提に関する注記）・・・７
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（セグメント情報等）・・・７

1．当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間の国内経済は、金融緩和政策などにより円安・株高が進むとともに、景気回復に向けて明るい兆しも見えてまいりました。しかしながら、中国などの経済成長鈍化など先行きが不透明な状況が続いております。

医薬品業界においては、後発医薬品やスイッチOTC医薬品促進等の医療費抑制施策の基調に変化はありません。また、平成 25 年1月に最高裁判所の判決により一般用医薬品のネット販売の規制が違法とされたことで、OTC医薬品市場において市場競争が一段と激化するなど厳しい事業環境が続いております。

一方、診断薬業界においては、微生物学的検査分野での保険点数加算による実施料の引き上げによる穏やかな回復傾向も見えてまいりました。

また、化粧品業界においては、海外メーカーや他業種の市場参入による競争の激化により、低価格商品への需要シフトなどが影響して市場回復が見られず、市場規模は横ばいから微減傾向で推移しております。

このような状況のもと、当第1四半期累計期間の売上高は前年同四半期に比べ 28 百万円（0.9％）減少し、31 億 43 百万円となりました。利益面におきましては、営業利益は前年同四半期に比べ 11 百万円（1.9％）増加し5億 91 百万円、経常利益は投資有価証券売却益の発生などにより前年同四半期に比べ2億 74 百万円（43.6％）増加し9億3百万円、四半期純利益は前年同四半期に比べ2億 87 百万円（103.1％）増加し5億 66 百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べ2億 81 百万円（0.9％）減少し 303 億 64 百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べ11 億4百万円（6.3％）減少し 164 億 99 百万円となりました。これは主に現金及び預金が4億3百万円、有価証券が3億5百万円、関係会社預け金が2億 76 百万円減少したことによります。

固定資産は前事業年度末に比べ8億 22 百万円（6.3％）増加し 138 億 65 百万円となりました。これは主に有形固定資産が 66 百万円減少した一方、投資有価証券が8億 93 百万円増加したことによります。

当第1四半期会計期間末の負債合計は前事業年度末に比べ4億 32 百万円（14.4％）減少し 25 億 60 百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べ4億 55 百万円（18.1％）減少し 20 億 65 百万円となりました。これは主に未払法人税等が3億 30 百万円、賞与引当金が1億 51 百万円減少したことによります。

固定負債は前事業年度末に比べ 22 百万円(4.9％)増加し4億 95 百万円となりました。これは主に繰延税金負債が増加したことによります。

当第1四半期会計期間末の純資産合計は前事業年度末に比べ1億 50 百万円（0.5％）増加し 278 億3百万円となりました。

この結果、自己資本比率は 91.6％となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、現時点では平成 25 年5月９日に公表した業績予想から変更はありません。

２．　サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,202	1,799
受取手形及び売掛金	3,083	2,994
有価証券	1,087	782
商品及び製品	1,733	1,679
仕掛品	428	436
原材料及び貯蔵品	572	626
繰延税金資産	169	104
関係会社預け金	8,234	7,957
その他	114	140
貸倒引当金	△23	△22
流動資産合計	17,603	16,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,214	2,183
機械装置及び運搬具（純額）	469	443
土地	2,478	2,478
その他（純額）	75	66
有形固定資産合計	5,238	5,172
無形固定資産		
ソフトウエア	47	40
その他	12	12
無形固定資産合計	60	52
投資その他の資産		
投資有価証券	7,560	8,454
その他	209	210
貸倒引当金	△26	△24
投資その他の資産合計	7,743	8,640
固定資産合計	13,042	13,865
資産合計	30,646	30,364

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,140	1,165
未払法人税等	584	254
賞与引当金	200	48
役員賞与引当金	24	13
歩戻引当金	15	32
その他	554	551
流動負債合計	2,520	2,065
固定負債		
長期未払金	85	85
退職給付引当金	3	3
その他	383	406
固定負債合計	472	495
負債合計	2,993	2,560
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,449	4,449
資本剰余金	5,378	5,378
利益剰余金	17,497	17,682
自己株式	△97	△97
株主資本合計	27,228	27,413
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	425	389
評価・換算差額等合計	425	389
純資産合計	27,653	27,803
負債純資産合計	30,646	30,364

（２）四半期損益計算書
第１四半期累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	3,172	3,143
売上原価	1,534	1,531
売上総利益	1,637	1,611
販売費及び一般管理費	1,057	1,020
営業利益	580	591
営業外収益		
受取利息	21	37
受取配当金	46	46
為替差益	0	－
投資有価証券売却益	－	217
投資有価証券償還益	－	47
その他	4	6
営業外収益合計	72	355
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	－	1
デリバティブ評価損	23	42
その他	0	0
営業外費用合計	23	43
経常利益	629	903
特別損失		
固定資産処分損	3	0
投資有価証券評価損	107	－
特別損失合計	111	0
税引前四半期純利益	517	903
法人税、住民税及び事業税	150	250
法人税等調整額	88	86
法人税等合計	238	336
四半期純利益	278	566

(3)四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第1四半期累計期間（自　平成 25 年4月1日　　至　平成 25 年6月 30 日）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

① 前第1四半期累計期間（自　平成 24 年4月1日　　至　平成 24 年6月 30 日）

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,387	707	826	250	3,172
セグメント利益	353	224	116	64	759

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	759
全社費用（注）	△179
四半期損益計算書の営業利益	580

（注）全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

② 当第1四半期累計期間（自　平成 25 年4月1日　　至　平成 25 年6月 30 日）

a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				
	臨床診断薬事業	産業検査薬事業	医薬事業	化粧品事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	1,380	703	805	253	3,143
セグメント利益	374	229	97	76	777

b. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	777
全社費用（注）	△186
四半期損益計算書の営業利益	591

（注）全社費用は主に支援部門に係る費用等であります。

c.　報告セグメントの変更等に関する事項

当社は中期経営計画の事業戦略に沿った今後の事業展開を踏まえ、経営管理の実態を適正に継続表示するため報告形態を検討した結果、報告セグメントを変更することと致しました。

従来の「診断薬事業」を、臨床検査薬を主とした「臨床診断薬事業」、食品衛生検査を主とした「産業検査薬事業」に区分して表示致します。

これにより当第1四半期会計期間より「臨床診断薬事業」、「産業検査薬事業」、「医薬事業」および「化粧品事業」の区分に報告セグメントを変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成しており、前第1四半期累計期間の「a. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。